

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	坂田ヶ池総合公園		
指定管理者	NPO法人成田坂田ヶ池の友		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日	～ 令和 3 年 3 月 31 日	4 年目
施設所管課	都市部	公園緑地課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	—	—
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられているか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	B	B
その他		—	—	
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A		
指定管理者の自己評価	実施体制は協定書に基づき適正に実施している。また、外部委託事業者は公園内施設に精通しており、管理に問題は無い。危機管理認識の向上を図るために、直下型地震に対する行動規範作成や消防署員による普通救命講習(AED)を実施している。所管課とは月1回の定例会議を開き直近の報告・課題を整理して業務の円滑化を図っている。			
施設所管課の評価	月に1度の定例打合せでは、日々の業務を記録した作業日報や作業写真の他、資料が適切にまとめられており、業務内容や公園の現状を明確に把握することが出来た。昨年度に指摘した、危機管理認識の向上については、自主的な防災訓練等を行い、スタッフの防災意識向上に努めていることが確認できた。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
その他		—	—	
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A		

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	キャンプ場の利用者が年々増加しており、利用者の公平性を確保するために窓口と電話受付に限り対応している。自主事業は、筍掘り教室、風と遊ぶ会、七夕飾り、お楽しみ夕涼み会、芋堀大会、餅つき大会をボランティア活動団体と共同して盛大に行われた。
	施設所管課の評価	キャンプ場の運営だけではなく、市民等が参加できるイベントを企画し実行するなど、利用者や市民に対して真摯に向き合う姿勢が見られた。また、日々の点検に基づいた修繕が早急に変更されており、サービス水準の維持が図られていた。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 收支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減 その他	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
【総括 Ⅲ】	收支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 6 項目)	A		
指定管理者の自己評価	毎日の経理事務は「現金・預金残高日報」を記帳して翌月上旬には会計事務所に提出し、月毎の決算書を作成している。また、予算執行は、計画どおり適正に執行するとともに経費の削減に努力している。			
施設所管課の評価	歳入歳出決算書を作成のうえ、監査委員による監査を経て、適正な経理事務が執行されている。			

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	多くの人に利用していただく(来園者数)	100000人/年・延	A	A
	目標②	イベントの実施	6回/年	A	A
	目標③	作業効率の向上(2%)→新規・レベルアップ作業の展開	400千円/年	A	A
	目標④	経費支出削減(1%)→消耗品節約、省エネ、外注経費縮減	200千円/年	A	A
	目標⑤	健全経営＝損益ゼロ(委託費の完全消費とサービス最大化)	利益率0.005%以下	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 4 項目・本施設 5 項目)	A		
指定管理者の自己評価	公園利用者の調査については、キャンプ場利用者を100組、森の遊び場、斜面広場、散歩中の対象者各々25組からモニタリングを6月に行い、高い評価を得た。また、外部団体による第三者モニタリングを2月に行い5点満点のうち4.2の評価を得た。				
施設所管課の評価	年間を通じて自主事業(お楽しみ夕涼み会等)を開催することにより、多くの利用者から好評を得るとともに、来園者数の増加に繋がっている。また、作業効率の向上として、園内にある樹木の剪定など、全て外部委託するのではなく、指定管理者が自ら行うことで、スタッフのレベルアップと経費の削減を行っている。				

Ⅴ	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	---------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	日々の点検により、施設の現状と課題が把握出来ており、適切な修繕を実施していた。また、昨年度、改善が望まれる点として「災害時のマニュアル作成や、防災訓練など独自の危機管理体制構築」を挙げたが、今年度直下型地震を想定した行動規範等の作成等を行っており改善されていた。
	改善が望まれる点	キャンプ場や施設の情報を公開するために、坂田ヶ池総合公園独自のHPを作成することが望まれる。